「第3次安曇野市里山再生計画（案）」に対するパブリックコメントの実施結果について

1. 対象
- ・市内に住所を有する者
 - ・市内に事務所又は事業所を有するもの
 - ・市内に存在する事務所又は事業所に勤務する者
 - ・市内に存する学校に在学する者
 - ・市税の納税者
 - ・上記のほか、実施機関が行う政策等に利害関係を有する者

2. 募集期間 令和6年12月23日（月曜日）から令和7年1月21日（火曜日）まで

3. 意見等提出状況 1名

4. パブリックコメントの意見等の要旨と対応

No.	該当ページ等	ご意見（要旨）	ご意見に対する市としての考え方と対応
1	全体	・第1次～第2次計画における取組の年間予算、第3次計画における今後の予算が見えない。 ・子どもの教育に時間とお金をかけているか。市内全校での取り組みができないか。	・本計画については、本市の里山未来像、計画の目指すべき方向性、それに向けた行政や市民、事業者等の具体的な取組や目標を定めたものであり、本計画には年度ごとの事業費や予算額等は記載しないものとなりました。 ・安曇野市教育委員会とも連携し、子どもたちの学びの場を創出していきます。
		・市民の活動が一部に偏りすぎている。東山での活動が見えない。	・36ページから38ページに掲載している「ちくりんず」「森林整備し隊」「長峰山山頂草地整備」等、東山においても活動が広がり始めています。
		・森林組合等林業事業体の資材人材の補填に協力できないか ・山林所有者との連絡や山林の活用の意思確認等が必要。市はこの中からイベント実施や山林から収益を得る方策等の策定に時間と費用を充てられると良い。	ご意見として承り、市の施策や今後の「さとふる。」の活動として取り組めるものがありましたら取り入れていきます。

	<ul style="list-style-type: none"> ・森林環境譲与税の活用について周知し、納税者の里山育成や収益化及び活用に資することが可能。 ・収益が見込める案件をファンド化することで、投資の活用と収益の分配を図ること、更には市民活動への参加も期待することができる。 ・東山の課題は竹林。管理をしながら植林が必要。 ・東山の山頂部のゴルフ場とのコラボレーションし、隣接個所に公園や宿泊施設などを計画し「湯多里山の神」とも連携できれば、企業にとっても利益になる。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・南安曇農業高校や信州大学などの教育機関、専門家を民間活用することで、所有資産を活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本計画の策定や取り組みの推進においては、信州大学や長野県の林業普及指導員、長野県林業総合センター等、様々な分野の専門家からも協力をいただいています。引き続き関係機関と連携し、取組を推進していきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の活動報告などをネット上に流して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「さとふる。」のホームページやフェイスブック等で随時活動状況やイベント情報を発信していますが、今後も様々な方法で情報発信の充実を図っていきます。